

2014年度 工学部電気電子情報工学科 教育課程表 (2014年度入学者から適用)

(学年は標準年次を示す)

		1年次						2年次						3年次						4年次						卒業要件 単位数										
		1セメスター			2セメスター			3セメスター			4セメスター			5セメスター			6セメスター			7セメスター			8セメスター													
		授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者											
専攻科目	基礎科目	幾何学A	○2	{阿部(吉) 長*1 渡邊(靖) 佐々木	幾何学B	○2	{阿部(吉) 矢島 高橋 (渡邊(靖)) 田村*2	関数論	2	{	微分方程式	4	{	代数学	2	{	代数学	2	{		{		{		{		{	27 以上								
		微分積分学A	○4		微分積分学B	○4		開数論	2		開数論	2		物理学	2		物理学	2																		
		物理学概説	○4		物理学	○4		物理学	○2		物理学	○2																								
	情報処理演習	○1	物理学実験A		○2																															
	必修科目	電気電子情報入門	○2	専任者全員	情報技術	○2	{松澤 能登 山口 平岡	電気電子情報実験	○3	{	電気電子情報実験	○3	{	電気電子情報実験	○4	{	電気電子情報実験	○4	{	輪講 (通年)			○2	{	44											
			基礎電気数学	○2	情報技術 プログラミング演習 電気回路	○2 ○1 ○2		電気回路 電気回路演習 電気磁気学	○2 ○1 ○2		電気磁気学 電気磁気学演習	○1		輪講	○1		卒業研究 (通年)			○8																
専攻科目	倫理科目				情報と倫理	2	前田						技術者倫理	2	大西	技術者倫理	2	大西								2 以上										
	専門基礎科目 選択科目							基礎電子物性工学	2	{	電子回路	2	{												6 以上											
								情報システム基礎 情報数学 計測工学	2 2 2		デジタルシステム基礎 情報ネットワーク 基礎電気数学	2 2 2																								
専攻科目	専門科目												通信工学基礎	2		ヒューマン情報処理	2		電気法規	2		電波法規	2			17 以上										
													エネルギー工学 基礎制御工学 光波電磁波 音響・超音波工学 電子回路 物性科学 コンピュータ 電子デバイス 高電圧工学 電気機器	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		応用電子物性工学 電波工学 伝送回路 集積回路工学 デジタル信号処理 半導体工学 コンピュータ 量子電子工学 電気機器設計製図 電気応用 電力工学 電気電子情報特別講義 パワーエレクトロニクス基礎	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		通信網工学	2																
専攻科目	関連科目	基礎化学	2	{亀山 岩倉 朝倉	基礎化学	2	{亀山 岩倉 朝倉 朝倉 中川 古川	応用数学	2	{	代数学概論	2	{	量子物理学	2	{	応用数学	2	{		{		{		{		{									
		化学実験A	2		化学実験A	2		確率・統計	2			統計物理学		2			確率・統計	2				知的財産権		2					量子物理学	2		統計物理学	2			
生物学概論	2	生物学概論	2																																	
					生物学実験A	2																														
専攻科目	関連科目				情報と職業	2																														

*1: 矢島, 永野, 小林, 高橋, 平田, 伊東, 越野 *2: 渡邊(靖), 松田, 佐々木, 相澤, 小谷, 半揚

〔備考〕

1 基礎科目のうち、○印は必ず修得しなければならない。□印は、[卒業要件]の2で示す科目を表す。

〔履修要件〕

- 1 上位年次の授業科目を履修することはできない。ただし、基礎科目においては2年次から、選択科目においては3年次から、関連科目においては2年次から、この制限を設けない。
- 2 他学部他学科開講の授業科目を履修する場合は、受講者数に制限があるので、担任者の許可が必要である。
- 3 受講するクラスが指定されている授業科目は、授業時間割表の指示に従って受講すること。
- 4 1年間に履修登録できる単位数は、54単位を上限とし、かつ各セメスターに履修できる上限は30単位とする（通年科目については、その科目の単位数を二分割し、各セメスターの単位数として換算する）。ただし、第二外国語、選択英語、および資格教育課程に関する科目については、この制限を適用しない。

〔進級要件〕

（1年次から2年次）

1年次終了までに、F Y Sの単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち25単位以上を修得した者。

（2年次から3年次）

2年次終了までに、次の単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち56単位以上を修得した者。

（1）電気電子情報実験 ・ を含む必修科目11単位以上（基礎科目を除く）

（3年次から4年次）[卒業研究履修資格]

3年次終了までに、次の単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち100単位以上を修得した者。

（1）電気電子情報実験 ・ および論議 を含む必修科目26単位以上（基礎科目を除く）

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。

なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔卒業要件〕

1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

授業科目 <

- 2 基礎科目については、「物理学」、「物理学」、「物理学」、「物理学」、「物理学実験A」のうち、10単位以上を修得しなければならない。
- 3 共通教養科目については「F Y S」2単位、外国語科目8単位、人文の分野、社会の分野、自然の分野から各4単位、共通テーマ科目から2単位修得しなければならない。そのほかに4分野及び共通テーマ科目から8単位以上修得し、計32単位以上修得しなければならない。なお、人間形成の分野「スポーツ文化 ～」は、2単位まで卒業要件単位数に算入することができる。また、自然の分野で卒業要件にできるのは、6単位以下である。
- 4 外国語科目については、必修科目としての英語を8単位修得しなければならない。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語8単位のうち4～6単位を日本語とすることができる。
- 5 倫理科目の「情報と倫理」、「技術者倫理」から、2単位以上を修得しなければならない。
- 6 専門基礎科目6単位以上を含め、選択科目合計で23単位以上を修得しなければならない。ただし、下記の科目は選択科目の専門科目単位に総計8単位まで換算できる。
 - （1）倫理科目のうち2単位を超える科目
 - （2）卒業要件単位を超える基礎科目
 - （3）関連科目および、他学部・他学科開講の専攻科目
 - （4）同一言語同一名称の科目を ・ のペアで修得した（必修以外）外国語科目
 - （5）資格教育課程の「教職に関する科目」（教職課程登録者を対象とする）
- 7 総合工学プログラムから電気電子情報工学科に所属された学生は、総合工学プログラムの卒業要件に従って履修した専攻科目の修得単位を電気電子情報工学科の専攻科目に置き換えることができる。

教育課程における標準年次の区切線について

標準年次が実線（——）で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できません。

標準年次が破線（……）で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できますが、[履修要件]等にしたがって履修できない授業科目もありえますので注意してください。